

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・情報ビジネス科		
教科書（出版社）	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）				
副教材（出版社）					
授業の概要	教科書に沿って、本文の内容を理解し、議論する。概論だけでなく、時事的トピックも扱いながら現代社会の諸課題を深く学ぶ。				
授業の目標	多角的な視点から現代社会の諸問題についてより深く理解を深め、人間としてのあり方生き方について主体的かつ公正に判断、考察する力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容（単元・項目）		学習目標		
	1 学期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本	民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	2 学期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済	経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解させる。国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら、国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。		
	3 学期	第3編 現代社会の諸課題	現代の日本が抱える課題を、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな視点から考え、望ましい解決のあり方を考える。それぞれの課題には、さまざまな角度からの対応策があることを把握しながら、幅広い視点から考察することを身に付ける。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につける。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				